



えのしろ

四日市市立三重北小学校

令和7年9月8日発行

学校教育目標 「自ら考え、行動できる子どもの育成」



全国学力学習状況調査の結果より

4月17日、6年生児童を対象に全国学力学習状況調査が実施されました。今年度は、国語・算数・理科3教科の学力調査と学習に対する姿勢や生活習慣等の調査が実施されました。算数がわずかに全国の正答率には及びませんでした。国語・理科2教科は全国や県の正答率を上回る結果となりました。学校・家庭・地域が一体となって取り組んできたことが、子ども達の学力向上につながったと考えています。

しかし、全国学力学習状況調査の目的は、結果分析をもとに、本校の「強み」「弱み」を明らかにし、今後の授業や家庭での学習、生活の改善に活かしていくことが目的です。是非、この後の分析結果と今後の学校の取組に目を通していただき、子ども達の学力定着と向上及び生活の質の向上のために、ご協力ください。

【結果】

- 国語は、正答率が全国平均より3.2%、上回っています。
- 算数は、正答率が全国平均より1.0%、下回っています。
- 理科は、正答率が全国平均より3.9%、上回っています。
- 3教科全てにおいて、無解答率が0%であり、粘り強く子どもたちが取り組んだ結果となっています。
- 国語、理科では、記述式の正答率が高くなっています。

【学習に対する姿勢や生活習慣等の調査結果より】

- 基本的な生活習慣、自己肯定感が育まれている児童がたくさんいます。
- 「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てを工夫して発表することができた」という児童がたくさんいます。
- いじめはどんなことがあってもいけない、普段の生活で幸せな気持ちになる、困ったときに友達や先生に相談することができるという児童がとてもたくさんいます。
- ▲家庭学習の時間が低下している傾向がみられます。
- ▲算数の学習に苦手感を抱いている傾向が見られます。

【取組】

- 家庭学習の取り組み方について指導や紹介方法の工夫をしていきます。
- 算数の授業に少人数指導や2人指導体制など指導体制も工夫します。
- 学校全体で朝学の時間で、条件をつけて「文を書く」等の学習の機会を取り入れます。

【三重北小の強み】

○問題に対して最後まで粘り強く解くことができます。基礎学力が定着してきており、それによって課題に向かう力がついてきています。

【国語】

○順序を考えながら、内容の大体の内容を理解することができます。

○条件を満たした文章を書く力がついています。

○資料から読み取った内容を、自分が納得したことを理由にして考えをまとめて表現することができます。

【算数】

○平行四辺形をコンパスを用いて作図することについての理解ができています。

○簡単な表から条件に合った項目を選ぶことができます。

○小数や分数などの基礎的な計算をすることができます。

【理科】

○直列つなぎが、電磁石を強くすることが理解できています。

○ヘチマの花のつくりがよく理解できています。

○水が陸から海へ流れる、水の行方を理解することができます。

【三重北小の弱みと今後の取組】

【国語の弱み】

○図による語句と語句との関係の表し方を理解して使うことが苦手です。

○自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることが苦手です。

○事実・感想・意見の関係を基に、文章全体の要旨を把握するのが苦手です。

【国語の取組】

○内容を整理するとき、図などのツールを使い、可視化してまとめる活動を入れます。

○初見の文章から分かることを文章でまとめる活動に力を入れます。

○今後も漢字や主語・述語の関係、適切な話し方など知識・技能の習得に力を入れます。

【算数の弱み】

○考え方を文章で説明することが苦手です。

○図形における「台形」の性質の理解が十分ではありません。

○10%増量の量や増量前の量など割合の内容が苦手です。

【算数の取組】

○式や公式の意味を考えたり、説明したりする活動を多く取り入れます。

○ICT を活用し、視覚化・ブロックなどの具体操作の学習機会を多くし、図形の基礎的な知識・理解の定着に向けて復習の機会を取り入れます。

○考え方を文章で説明するために、キーワードを提示したり、友だちの考えを自分の言葉で説明したりする活動を行います。

【三重北小の弱みと今後の取組】つづき

【理科の弱み】

○身の回りの金属について、電気を通す・引き付けられるものへの理解が苦手です。

○電磁石の強さが巻き数によって変わることの知識が十分ではありません。

○水が氷に変わる温度を根拠に海の氷の面積が減少した理由を予想し、表現することが苦手です。

【理科の取組】

○単元ごとに既習事項や用語を確認する機会を設定していきます。

○実験活動などで、「問題・予想・結果・考察・新たな問題」という流れを定着させ、表現する活動を取り入れます。

○予想や考察などを、根拠をもとに文に表したり説明したりする活動に力を入れます。

昨年度、三重県教育ビジョンが改訂されました。「自己肯定感の涵養」「自律的な学習者の育成」を改定の大きな柱としています。特に、「自律的な学習者の育成」のためには、家庭（自主）学習のあり方の重要性が掲げられています。学校では、今後も「だれもがわかるたのしい授業づくり」に重点を置いて取り組んでいきます。ご家庭でも、書いたり話したりすることや自主的な学習への声かけ等意識していただき、お子さんを見守っていただけるとありがたく思います。